



政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム  
「省エネルギー基準の最新研究」



**趣旨**： 昭和の時代にオイルショックを契機に創設された省エネルギー基準は、努力目標から適合義務基準に向けて着実に進化してきた。最近では、webプログラムと呼ばれる、建築物（住宅、オフィス等）の一次エネルギー消費量計算ツールが建築研究所より公開されており、省エネ申請の実務に供されるとともに、BIMとの連携やLCCM、ZEB、ZEHの補助制度に使われるなど活用範囲が広がっている。本シンポジウムは、住宅、オフィス等の省エネルギー基準に関する最新研究を紹介し、学識経験者や設計実務者を招き、省エネルギー基準への期待や課題などを討議する。

**日時**： 2020年2月7日（金）13:30-17:00（受付13:00から）

**会場**： 政策研究大学院大学 1階想海樓ホール 定員：300名

**主催**： 国立大学法人政策研究大学院大学、国立研究開発法人建築研究所

**後援**： 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人都市再生機構、建築研究開発コンソーシアム、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人建築設備技術者協会、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

**プログラム**

13:30 **開 会**

13:30-13:40 **主催者挨拶**

足永靖信（建築研究所 持続可能プログラム PD）  
杓掛 誠（政策研究大学院大学 教授）

13:40-14:50 **基調講演**

(13:40-14:15) 「非住宅建築物の設備基準開発と設備学」

射場本忠彦（東京電機大学 学長・東京電機大学 名誉教授）

(14:15-14:50) 「性能向上改修の実践－住宅医の活動を通して」

三澤文子（Ms 建築設計事務所 代表取締役）

14:50-15:50 **講 演**

(14:50-15:10) 「省エネルギー基準及び研究動向」

桑沢保夫（国土技術政策総合研究所 住宅情報システム研究官）

(15:10-15:30) 「住宅の省エネルギー性能の評価（省エネ改修の重要性も含めて）」

三浦尚志（建築研究所 主任研究員）

(15:30-15:50) 「非住宅の省エネルギー性能の評価（新技術評価開発の動向を中心に）」

宮田征門（国土技術政策総合研究所 主任研究員）

15:50-16:50 **質疑応答**

司 会 澤地孝男（建築研究所 理事）

登壇者 射場本忠彦 三澤文子 桑沢保夫 三浦尚志 宮田征門

16:55 **情報提供**

前田明継（建築研究所 企画調査課）

17:00 **閉 会**

**入場無料（事前登録制）**

氏名、所属を明記の上、1月31日（金）までにご連絡下さい。定員になり次第申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

申込先：政策研究大学院大学 担当：菊池

**(E-mail:zizoku@grips.ac.jp)**

※本シンポジウムは、下記CPD制度の共通認定プログラムです。  
建築CPD情報提供制度、JIACPD制度、建築士会CPD制度、  
建築設備士関係団体CPD制度、APECアーキテクト、  
APECエンジニア、建築・設備施工管理CPD制度

